

無人機産業基盤強化検討会の設置について

令和 7 年 5 月 9 日

経済産業省 製造産業局

航空機武器産業課・次世代空モビリティ政策室

1. 本検討会の開催趣旨

無人機産業は、我が国において、将来的に人手不足が深刻化する産業（点検や土木・建築、物流など）を中心として、業務の効率化・無人化のための重要なインフラ機能を担っていくことが期待される。加えて、2022 年 12 月に閣議決定された「国家防衛戦略」において、「防衛力の抜本的強化に当たって重視する能力」の 1 つとして「無人アセット防衛能力」が示されているなど、防衛用途においてもその重要度が増してきている分野である。

一方、我が国においては、無人機の本格的な量産体制が確立しておらず、世界市場において我が国プレイヤーは十分なシェアを獲得できていない。我が国の無人機産業の強化を図るには、官民一体で市場を創出し、この獲得に必要な量産体制整備を両輪で進めるとともに、安定供給を確保するための重要部品のサプライチェーン強靱化に取り組むことが必要である。

そこで、政府としては我が国無人機産業が今後獲得していくべきマーケット、市場獲得に向けて整備しなければならない量産基盤の在り方、重要部品（カメラ、バッテリー、モーター等）のサプライチェーン強靱化に向けて求められる取組について、官民一体となって検討するため、航空機産業小委員会の下に、「無人機産業基盤検討会」（仮称）を設置することとする。

2. 本研究会の進め方

今夏に無人機産業の基盤強化の方向性について総括を行うことを念頭に、月 1 回程度の開催を予定する。また必要に応じ、参画企業と事務局との間で個別議論を実施する。

無人機産業の基盤強化の方向性についての総括は、航空機産業小委員会にて報告を行う。